

○除雪費

本市では、毎年、降雪状況が大きく異なっており、そのため、除雪費の決算額も毎年度大きく異なっていることから、当初予算においては、支所分を含んだ4億円を計上することとしている。

本市の除雪体制については、除雪委託業者32社、除雪車両364台が登録されているが、当初予算の4億円から定めているものではない。

議案第55号

大人料金の引き下げの理由については、入館者数が低迷している当施設において、今後、より一層の利用促進を図っていくという中で、利用者の声などから、割高感がネックになっていると考え、市民や観光客が今よりも来館しやすい環境を作る必要があると判断したためである。

キッズプラザとの共通利用定期券導入の理由については、利用者からの要望があることに加え、入館者数が好調なキッズプラザの利用者を誘導し、施設の魅力を情報発信してもらうことで、さらなる新規利用者を生むといった相乗効果も期待されるところであるためである。

委員間の協議

議案第1号

予算に対しての裏付けやポイントについて確認できた。

新しい事業については、効果があると感じた。

議案第55号

条例改正の理由を確認できた。
施設の安定した集客を図ることによ

り、中心市街地の活性化にもつなげていただきたい。
などの意見があり賛成。

民生分科会

議案40件を審査

主な論点・疑問点等

議案第1号 平成30年度函館市一般会計予算（民生分科会関係部分）

○ひとり親家庭等子どもための学習支援事業費

・事業の内容など

○生活困窮者自立支援対策事業費（中学生学習支援等事業）

・事業の内容など

議案第26号 平成29年度函館市病院事業会計補正予算

・他会計補助金補正の理由・改革プランの進行状況など

主な理事者の説明

議案第1号

○ひとり親家庭等子どもための学習支援事業費

当該事業は、特に困難な事情を抱えた小学生の子どもがいるひとり親家庭等を対象とし、学習支援および保護者に対する訪問相談支援を、ノウハウのある民間事業者に委託して実施するものであり、対象の世帯数は、これまでの相談実績から8世帯を見込んでいる。小学生を対象とした学習支援については、既に、アフタースクールが実施されているが、当該事業は、アフタースクールへの参加が困難など、学習環境が整っていないひとり親家庭の小学生を対象に実施するもので、あわせて、保護者に対する継続的な支援も実施す

ること、ひとり親家庭に対する総合的な支援を行うものであることから、それぞれの事業について、その役割は重ならないものと考えている。

○生活困窮者自立支援対策事業費（中学生学習支援等事業）

当該事業は、平成28年9月から実施しているが、新年度については、今年度の参加者からの要望やケースワーカーを通しての参加希望の聞き取りなどから、実施場所を2カ所から3カ所に拡大し、定員を、これまでの30名から40名へと増やして実施する。

今後も関係部局と協議のうえ、事業の周知方法を工夫し、参加を希望する方の支援につなげてまいりたい。

議案第26号

他会計補助金の補正にかかり、市立函館病院では、手術件数が目標に達していないことなどから、入院収益などの医業収益が減少すると見込んだところであり、財政健全化法に基づく資金不足比率が、病院事業会計全体で、経営健全化基準の20%を超えないよう、一般会計に2億円の支援をお願いしている。

改革プランで掲げた、函館病院の経営効率化に向けた具体的な取り組みのうち、平成29年度に実施すべきものとして、入院件数の増加については、実績としては前年度を大きく上回るものの、目標には若干届かず、手術件数の増加につなげていないことから、収入額としては目標に届いていない。平均入院日数の適正化については、DPCにおける平均的な入院期間を超えて退院する患者の割合が、前年度に比べ減少しているところであり、適正化に

向けた取り組みの効果が一定程度出ている。

委員間の協議

議案第1号

○ひとり親家庭等子どもための学習支援事業費

対象世帯数については、本当に情報が行き渡ったうえでの設定となっているが、今後、検証しなければならぬが、事業が立ち上がったことは評価したい。

○その他、生活困窮者自立支援対策事業費（中学生学習支援等事業）など、質疑を行った事業等

事業内容、予算の積算根拠の妥当性などが確認できたので、了としたい。

議案第26号

決して好ましい状態にあるとは言えず、今後の推移を見ていかなければならないが、当初から見込まれている状況でもあるので、了としたい。
などの意見があり賛成。

